

## 多目的コホートに基づく主要ウイルス・細菌感染とその後のがんの発生に関連する生活習慣要因に関する疫学研究

### 1. 研究の対象

多目的コホート研究（JPHC Study）において、ベースライン時（コホート I は 1990 年、コホート II は 1993 年）あるいは 5 年後調査時に血液を提供した方を対象とします。

具体的には、多目的コホート研究対象地域である岩手県二戸、秋田県横手、長野県佐久、沖縄県中部、東京都葛飾（以上 1990 年開始のコホート I）、茨城県水戸、新潟県柏崎、高知県中央東、長崎県上五島、沖縄県宮古、大阪府吹田（以上 1993 年開始のコホート II）の 11 保健所管内（呼称は平成 16 年 4 月現在）に、研究開始時点で居住していた大正 12 年－昭和 27 年生まれの住民約 14 万人で、1）研究開始時に血液提供のある方、および 2）各対象地域における協力医療機関等において健診受診歴があり、上記主要ウイルス・細菌感染の有無に関する情報が協力医療機関等によって把握されている方を対象とします。予定対象者数は合計約 10 万人（うち血液提供のある者は約 5 万人）です。追跡開始後不適格と判明した方（外国人、対象地域外に居住、年齢不適格判明者、追跡拒否者）は、除外しました。

### 2. 研究目的・方法

#### ◇ 研究の概要：

多目的コホート研究（JPHC Study）において採取・保存されている血液を用いて、わが国における主要がん関連ウイルス・細菌の感染率の実態を把握するとともに、その後に発症したがんとうイルス・細菌感染と食事や生活習慣との関連、および、各種の血液検査項目との関連を検討する研究です。

#### ◇ 研究の意義：

日本で、特に重要と考えられているがん関連ウイルス・細菌として HCV、HBV、HTLV-I、H. pylori などが知られています。これらのウイルス・細菌感染者では、肝がんをはじめ、成人 T 細胞白血病や子宮頸がん、胃がんになるリスクが非常に高くなります。しかしながら、これらの感染とその他の生活習慣要因や血液マーカーとの関連は十分に調べられていません。

#### ◇ 研究の目的：

既に採取・保存されている血液を用いた測定及び協力医療機関からの対象者に関するウイルス・細菌感染情報を用いて、多目的コホート研究地域における HCV、HBV、HTLV-I、H. pylori など、わが国における主要がん関連ウイルス・細菌の感染率の実態を把握するとともに、これらの感染とその他の生活習慣要因や血液マーカーとの関連を解明し、これらのウイルス・細菌関連をはじめとするがんの発症予防対策に資することを目的とします。

◇ 研究の方法：

<研究デザイン>横断研究、ネステッドケース・コントロール研究、ケース・コホート研究を含むコホート研究

<測定予定血液検査項目>（すべて血漿を用います）HCV 抗体、HBs 抗原、HTLV-I 抗体、H. pylori 抗体等がん関連ウイルス・細菌の感染マーカー、及び、外因性ホルモン類似物質（イソフラボン）、抗酸化物質（カロテノイド、リコペン）、メタボリックシンドローム関連物質（血漿 IGF-I、IGFBP3、アディポネクチン）、炎症関連マーカー、糖鎖マーカーなど。

◇ 研究の実施期間： 2028 年 3 月 31 日まで

### 3. 研究に用いる試料・情報の種類

- ① 多目的コホート研究（JPHC Study）で収集した生活習慣アンケート調査情報、および健診情報等
- ② 多目的コホート研究（JPHC Study）で収集した血漿検体等
- ③ 多目的コホート研究（JPHC Study）で収集した生年月日、転出日、死亡日、全死因、がん罹患登録情報等の追跡情報
- ④ その他、郵送調査等において判明したがん以外の疾病既往情報や郵送追跡調査において収集した健康状態に関する情報等

### 4. 外部への試料・情報の提供・公表

◇ 試料・情報の提供

「5. 研究組織」に列記する共同研究機関に試料・情報等を提供する場合は、書留・配達記録など、受取人の手元に確実に届くことを保証する仕組みを用います。電子媒体では、暗号化・パスワード管理など、第3者がファイルを容易に閲覧できない仕組みを施します。

◇ 情報の公表

研究の成果は、論文および学会等で発表します。

◇個人情報保護に関する配慮

解析する情報は、本研究専用割り振られた研究番号がわりふられており、解析者は個人を特定することはできません。

本研究で取り扱う個人情報については、多目的コホート研究における個人情報保護・安全管理マニュアルにしたがって、対象者に危険・不利益が及ばないように厳格に管理しています。電子データは対象者番号によって匿名化（とくめいか）されています。

5. 研究組織

国立がん研究センター	井上 真奈美（研究代表者）
米国国立がん研究所	Charles Rabkin
大阪大学	磯 博康
大阪大学	祖父江 友孝

国際医療研究センター	溝上 雅史
------------	-------

6. 問い合わせ先

本研究に関するご質問等がありましたら、下記の連絡先までお問い合わせ下さい。ご希望があれば、他の研究対象者の個人情報、知的財産の保護に支障のない範囲で、研究計画書、および関連資料を閲覧することが可能です。また、試料・情報が、当該研究に用いられることについて、対象者の方、もしくは対象者の代理人の方にご了承いただけない場合には研究対象としないので、下記の連絡先までお申出ください。この場合も対象者の方に不利益が生じることはありません。

◇ 照会先および研究への利用を拒否する場合の連絡先

〒104-0045 東京都中央区築地5-1-1  
国立がん研究センター がん対策研究所 予防研究グループ  
多目的コホート研究事務局  
担当研究者：澤田 典絵  
電話 0120-220-510  
ホームページ： <http://epi.ncc.go.jp/jphc/>  
Email: [jphcadmin@ml.res.ncc.go.jp](mailto:jphcadmin@ml.res.ncc.go.jp)

◇ 研究代表者/ 研究責任者

国立がん研究センター がん対策研究所  
部長 井上 真奈美